

フィールドスター[®]P乳剤

FIELDSTAR P

登録番号 第22777号
 種類名 ジメテナミドP乳剤
 dimethenamid-P
 除草剤分類 15
 性状 暗褐色可乳化油状液体
 有効年限 5年

有効成分 ジメテナミドP 64.0%
 毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 危険物 第四類第3石油類(水溶性) 危険等級III ジメテナミドP、ソルベントナフサ 火気厳禁
 包装 500mℓ×20本

■特 長

- 40日以上の長期持続効果があります。
- イネ科雑草、カヤツリグサ、スベリヒユ、イヌビユに優れた効果を発揮します。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用作物・雑草名及び使用方法

(2023年12月6日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり 使用量		本剤の 使用回数	ジメテナミド 及び ジメテナミドP を含む農薬の 総使用回数	使用 方法
			薬量 (ml)	希釈水量 (ℓ)			
キャベツ	一年生雑草 (アカザ科・ アブラナ科・ タデ科を除く)	定植後(雑草発生前) 但し定植後10日まで	50～75	100	1回	1回	全面 土壌 散布
ブロッコリー カリフラワー		定植後(雑草発生前) 但し収穫30日前まで					
たまねぎ		定植前(雑草発生前)					
ばれいしょ		植付後萌芽前 (雑草発生前)					
えだまめ だいず いんげんまめ		は種後出芽前 (雑草発生前)					
とうもろこし 飼料用とうもろこし	一年生 イネ科雑草	とうもろこし 出芽直前～2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)	75～120	100			
てんさい (移植栽培)	一年生雑草 (アカザ科・ アブラナ科・ タデ科を除く)	定植後または中耕後 雑草発生前但し 収穫45日前まで	70～100	2回以内	2回以内		
てんさい (直播栽培)		中耕後(雑草発生前) 但し収穫45日前まで					

⚠ 効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失ないように散布してください。
- アカザ科、タデ科及びアブラナ科など一部広葉雑草には効果が劣るので、これら広葉雑草の混在する所では、広葉雑草に有効な除草剤との体系で使用してください。
- 散布後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
- 砂土では使用しないでください。
- ブロッコリーに使用する場合には、夏期の高温時は薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。

除 草 剤 フィールドスター P 乳剤

8. えだまめ、だいず、いんげんまめ、飼料用とうもろこし、とうもろこし及び直播栽培のてんさいに使用するには、砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2～3 cm 以上としてください。
9. いんげんまめに使用の場合は、品種により薬害を生じることがあるので、金時類以外には使用しないでください。
10. 散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
11. キャベツに使用するには、初期生育抑制を生じることがあるので、薬量を厳守してください。
12. 自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
13. 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
14. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

15. 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
16. 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
17. 皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
18. 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
19. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
20. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物への影響：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

○空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

●フィールドスター P 乳剤の上手な使い方

◎フィールドスター P 乳剤を効果的にかつ安全にご使用していただくため、次の点に留意してください。

- ①本剤は土壌中の移行性が比較的大きいので、砂土での使用はさけてください。
- ②定植苗に散布する場合は、苗が活着後（葉のしおれから苗が回復後）に散布してください。
- ③夏期に散布する場合は、直射日光が強い時間帯をさけましょう。
- ④薬剤散布後は過度、頻繁な灌水はさけてください。

⚠ 活着後は、根の生長を促進する為にも、過度、頻繁な灌水はさけてください。

不必要な灌水は、フィールドスター P 乳剤の処理層の破壊、雑草の出芽を促進してしまいます。

- ⑤土壌水分が高いと、高温期は、耕うん畝立後3日程度で雑草が出芽してしまうので、苗の定植は耕うん畝立後できるだけ早く実施してください。
- ⑥重複散布を減らし作業時間を短縮できるため、除草剤専用ノズルの使用をおすすめします。